

ワイドゲート

取付説明書 —電動タイプ—

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

<施工の前に>

■正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

■設置場所の確認

- 施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- 建物の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
- 施工場所の気象条件(風、雪等)に合った商品かどうか確認してください。
- 強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
- パネルの通り路に障害物がないか確認してください。

■梱包明細で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

■組立て、施工途中では

- ボルト、ネジは弊社純正品を使用し、規定本数を確実に締め付け固定してください。
- 取付説明書の順序どおりに組付けてください。製品の強度など、性能を低下させる場合があります。
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。

■基礎工事について

- 基礎寸法は、取付説明書の通りの寸法としてください。地盤の種類によっては、倒壊の危険性が発生します。
- 基礎コンクリートには、塩分を含む砂、および塩素系のモルタル混和剤を使用しないでください。

■電線の埋設工事、配線作業に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。

■製品の改造は絶対にしないでください。

■施工完了後は

- ボルト、ネジ等に緩みがないか確認してください。
- 施工中の汚れは取り除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗装をしてください。

■施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

<施主様へ>

■ご使用前に必ず<施主様用取扱説明書>をお読みください。

■梱包明細書

①吊戸パネルセット(掛)

名 称	員 数
① パネル(掛)	1

②吊戸パネルセット(受)

名 称	員 数
② パネル(受)	1

③フロントカバーセット

名 称	員 数
③ フロントカバー(右)	1
④ フロントカバー(左)	1

④吊戸下レールセット

名 称	員 数
⑤ 下レール	1

⑤柱セット

名 称	員 数
⑥ 柱(右)	1
⑦ 柱(左)	1
⑧ 柱フタ(右・上)	1
⑨ 柱フタ(右・下)	1
⑩ 柱フタ(左・上)	1

⑥桁セット

名 称	員 数
⑪ 桁	1
⑫ 桁カバー	1

⑦電装部セット

名 称	員 数
⑬ コントロールボックス	1
⑭ リモコン送信器(小箱入り)	2

⑨エニーハンガーゲート錠(部品セット)

名 称	員 数
⑮ 作動側把手	1
⑯ 固定側把手	1
⑰ シリンダー(キー付)	1
⑱ エマーゼンシー	1
⑲ シリンダーカラー	1
⑳ エマーゼンシーカラー	1
ビス セ ット	
⑲ 内座取付ビス M5×35サラ	8
⑳ 内把手取付ビス M5×30サラ	8
㉑ シリンダー取付ビス M4×60サラ	2

⑧部品セット(吊戸袋セット)

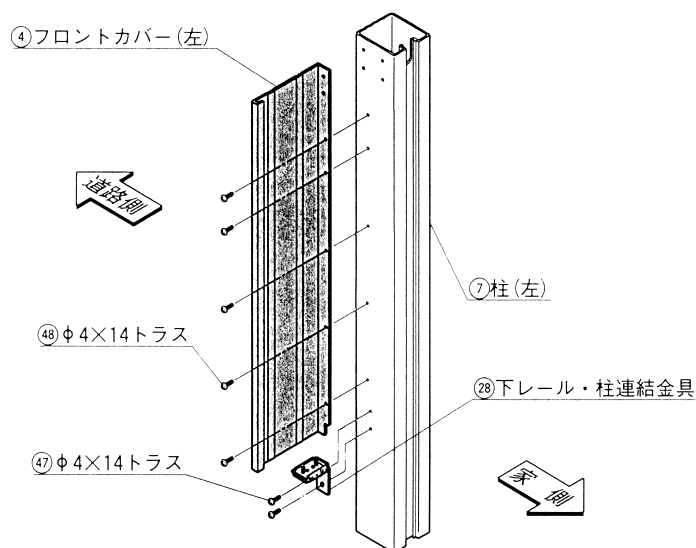
名 称	員 数
㉒ 上戸袋(右)	1
㉓ 上戸袋(左)	1
㉔ レール(右)	1
㉕ レール(左)	1
㉖ 下レール・柱連結金具	2
㉗ 合掌ローラー	2
㉘ 吊元ローラー	2
㉙ 連結部品	2
㉚ パネル連結ツマミ取付金具	2
㉛ パネル連結ツマミ	4
㉜ 桁・柱金具	2
㉝ アンカー棒	2
㉞ カマ錠プレート	1
㉟ 潤滑剤	1
㊱ 取付説明書	1
㊲ 施主様用取扱説明書(保証書付)	1
㊳ 上戸袋(右)(左)組付ネジ M5×42トラス	12
㊴ レール(右)(左)組付ネジ M5×10トラス	10
㊵ 合掌ローラー・吊元ローラー組付ネジ M5×10トラス	8
㊶ 連結部品組付ネジ M5×12(SW)六角ボルト	8
㊷ パネル連結ツマミ取付金具組付ネジ M5×10トラス	4
㊸ 合掌錠(掛)用ふた穴隠しシール φ20	2
㊹ 柱組付ネジ M5×10トラス	16
㊺ 下レール・柱連結金具組付ネジ φ4×14トラス	4
㊻ フロントカバー(右)(左)組付ネジφ4×14トラス	10
㊼ 桁カバー組付ネジ φ4×14トラス	10
㊽ 桁・柱金具組付ネジ M5×10トラス	12
㊾ アンテナ	1
㊿ 柱押ボタンスイッチ	1
㊿ 柱押ボタンスイッチパッキン	1
㊿ コントロールボックス金具	2
㊿ 柱押ボタンスイッチ組付ネジ M4×30サラ	2
㊿ コントロールボックス金具組付ネジ M5×10トラス	4
㊿ コントロールボックス組付ネジ M5×10トラス	2
㊿ コントロールボックス組付ネジ M5×16トラス	2

※ 員数表の先頭についている番号と、本文中の番号は対応致しますので御参考にして下さい。

●正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。

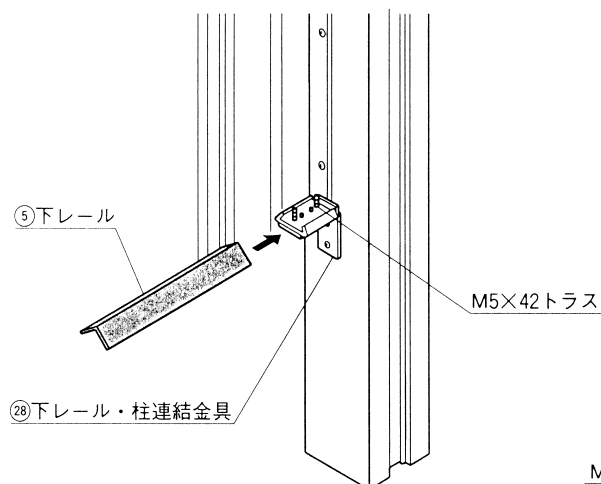
2. つづき

2-2 フロントカバー(右)(左)、下レール・柱連結金具の組付け



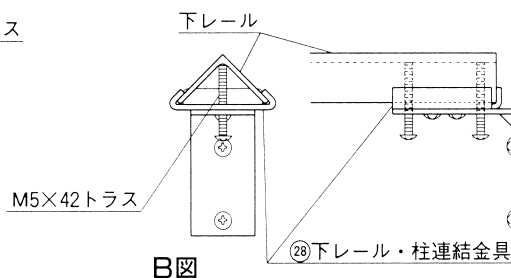
- ❶ ⑦柱(左)に、④フロントカバー(左)を④⑧φ4×14トラスネジ(5本)で組付けて下さい。
- ❷ ⑦柱(左)に、②⑧下レール・柱連結金具を④⑦φ4×14トラスネジ(2本)で組付けて下さい。
- ❸ 反対側も同様に組付けて下さい。

2-3 下レールの組付け



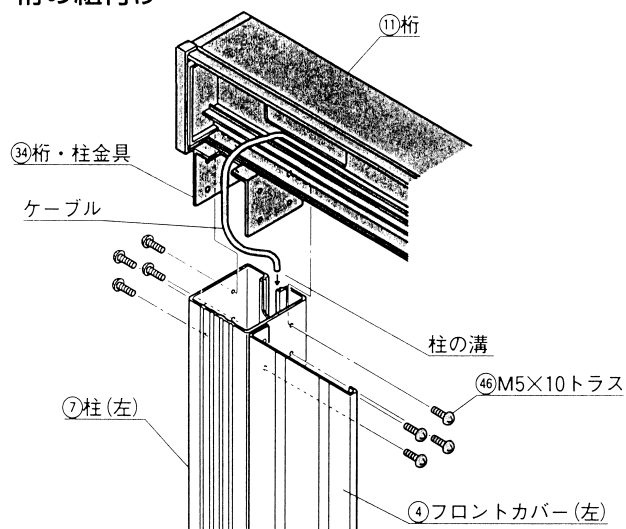
A図

- ❶ ⑤下レールを②⑧下レール・柱連結金具にスライドさせ、下レールの端部が②⑧下レール・柱連結金具に当たる迄差込んで下さい。(A図参照)
- ❷ ⑤下レールの端部が金具に当たっている状態で、M5×42トラスネジで締め付けて下さい。(B図参照)
- ❸ 反対側も同様に組付けて下さい。



B図

2-4 桁の組付け

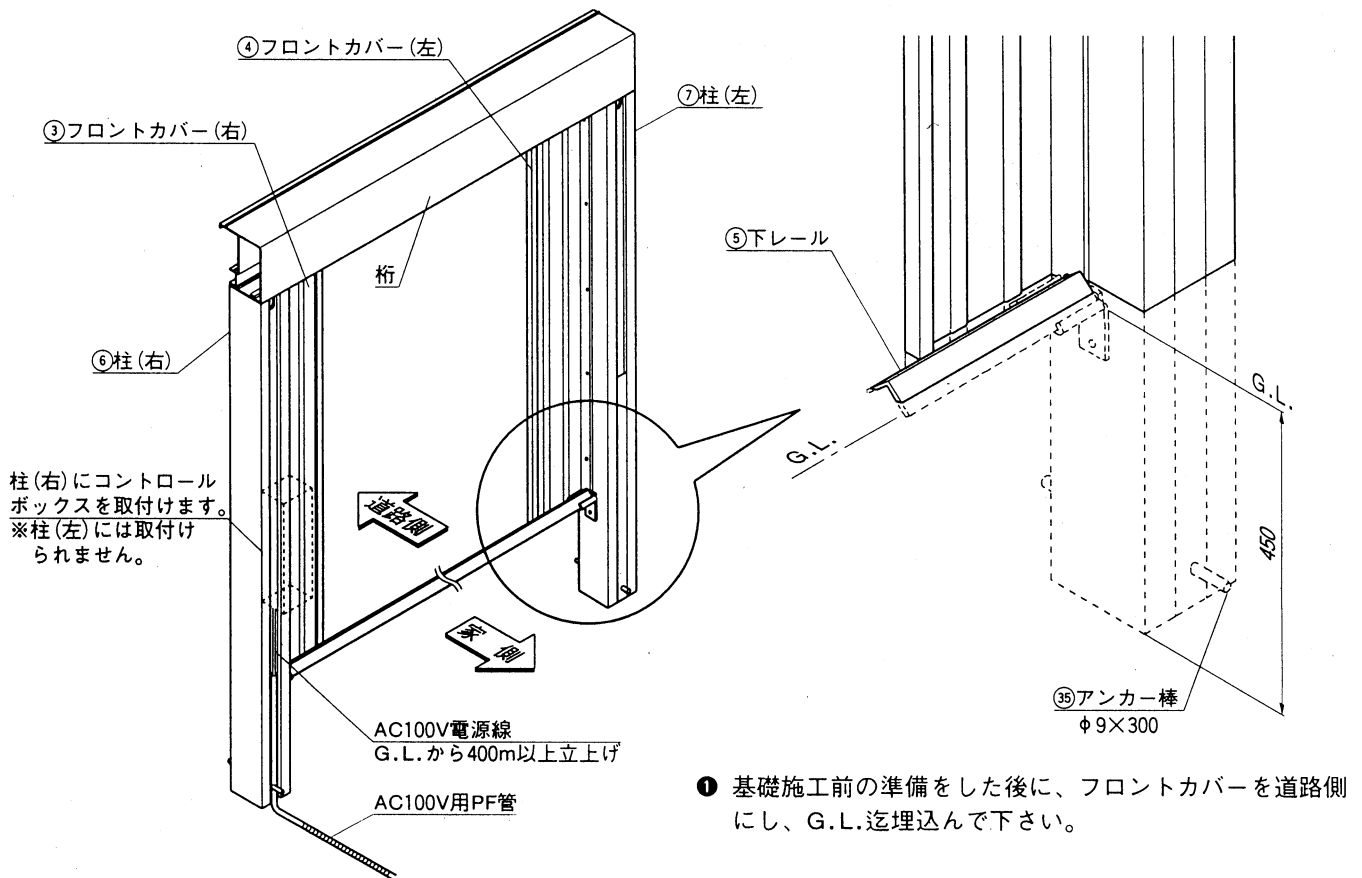


- ❶ ⑦柱(左)に、③④桁・柱金具を差し込み④⑥M5×10トラスネジ(8本)で組付けて下さい。
- ❷ 反対側も同様に組付けて下さい。

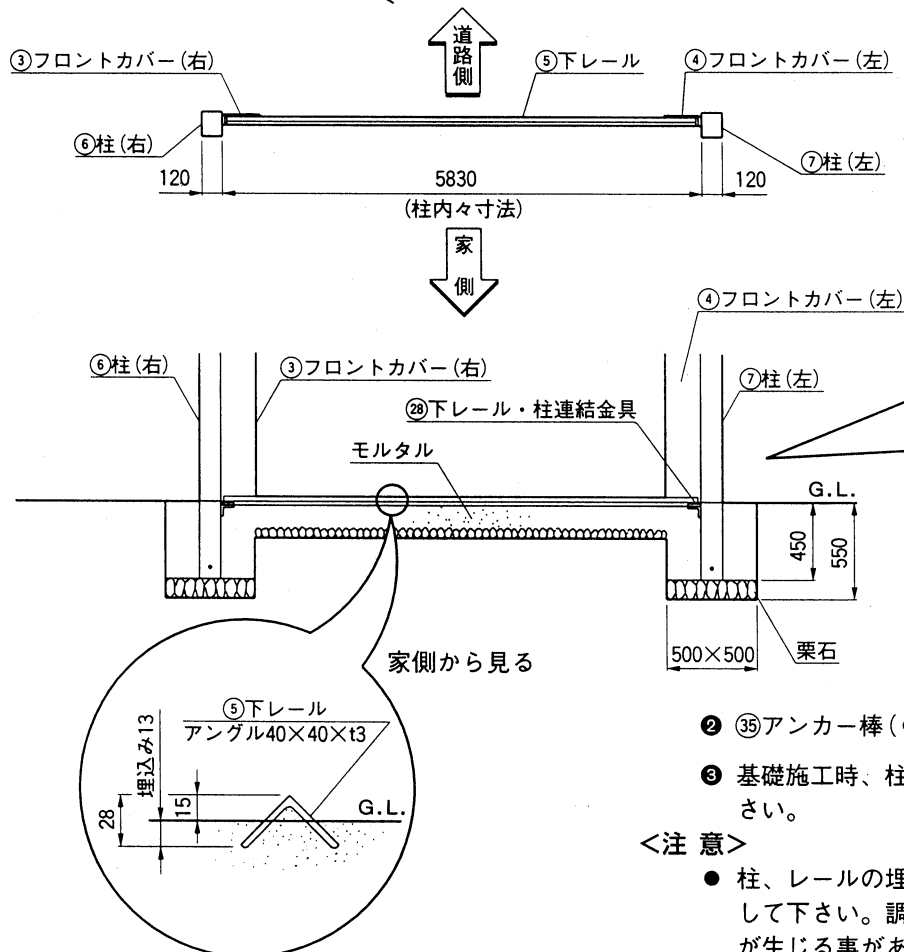
<注意>

- 桁から出ているケーブルは、図のようなとりまわしを行なって下さい。
- ケーブルをはさみ込まないように注意して下さい。

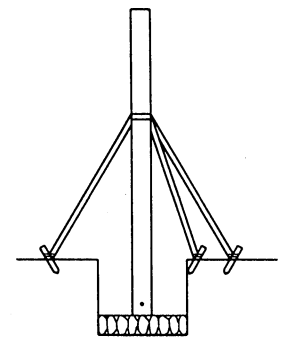
3.基礎施工



- ① 基礎施工前の準備をした後に、フロントカバーを道路側にし、G.L.迄埋込んで下さい。



柱の仮施工



ロープ、あるいは添木を用いて柱を固定し、コンクリートが硬化するまでの間は十分に注意して下さい。

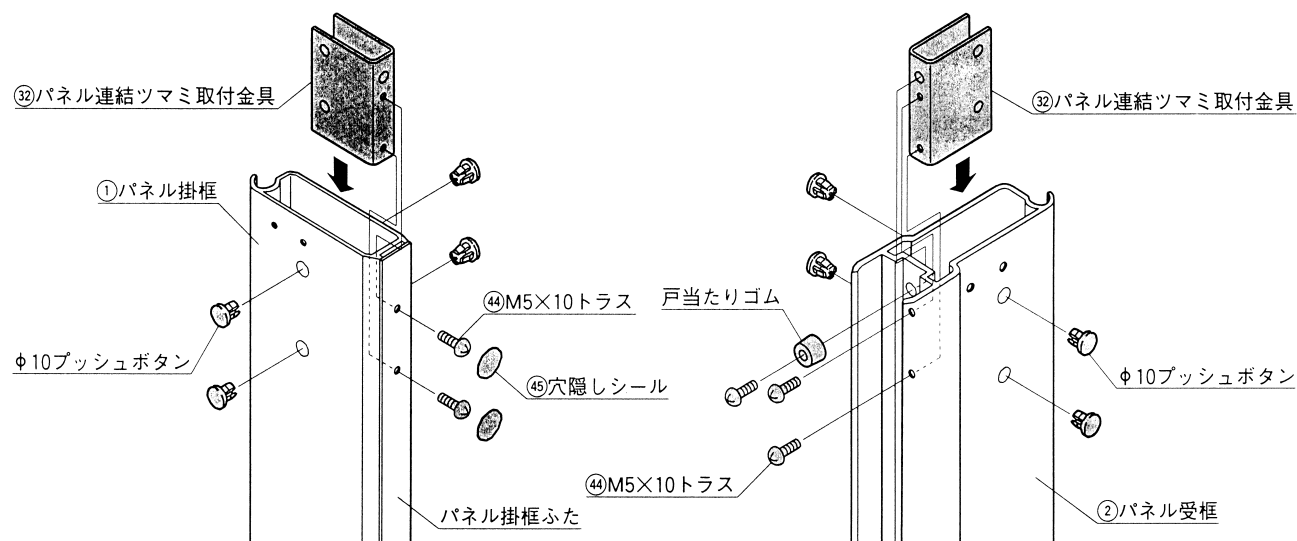
- ② ③⑤アンカー棒($\phi 9 \times 300$)は必ず施工して下さい。
- ③ 基礎施工時、柱(右)にAC100V電源用PF管を立上げて下さい。

<注意>

- 柱、レールの埋込み位置高さ、水平度等は、十分に調整して下さい。調整が不十分な場合、パネルの作動に支障が生じる事があります。

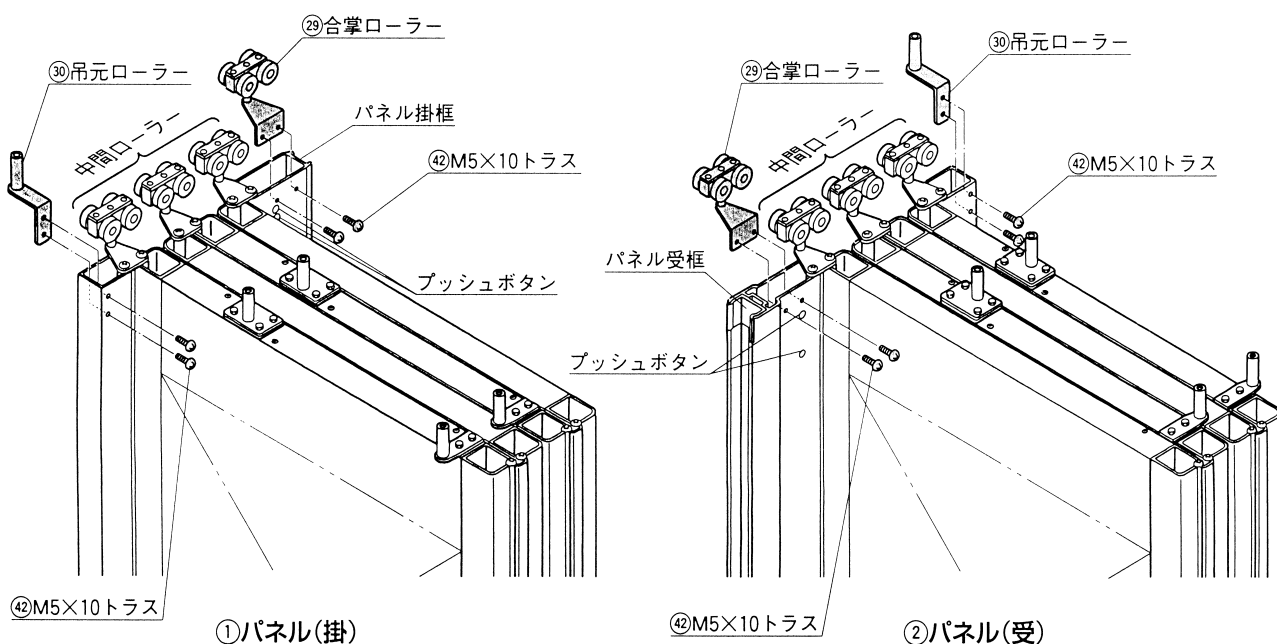
4. パネル連結ツマミ取付金具の組付け

③② パネル連結ツマミ取付金具を取付けます。



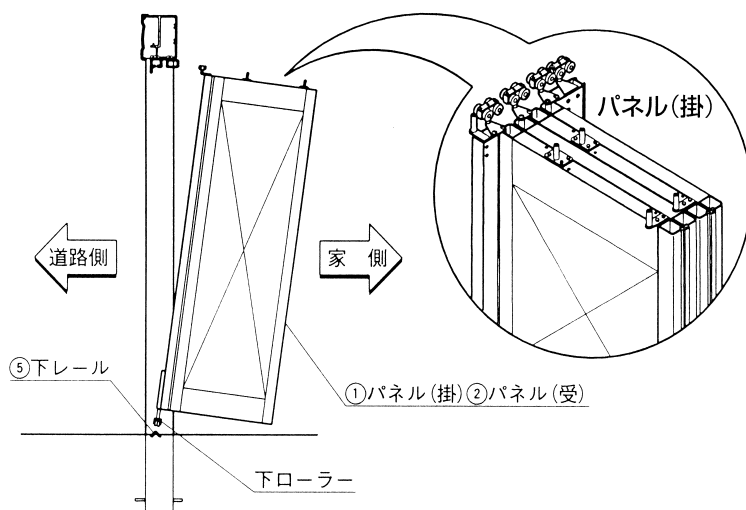
- ❶ ①パネル掛框のφ20穴隠しシール、φ10プッシュボタンと②パネル受框のφ12穴隠しシール、戸当たりゴム、φ10プッシュボタンをはずして下さい。
- ❷ ①パネル掛框に③パネル連結ツマミ取付金具を入れ④M5×10トラス(2本)で組付けて下さい。パネル掛框ふたに⑤φ20穴隠しシールを取付けて下さい。
- ❸ ②パネル受框に③パネル連結ツマミ取付金具を入れ④M5×10トラス(2本)で組付けた後、はずした戸当たりゴムを組付けて下さい。

5. パネルの合掌ローラー・吊元ローラーの組付け



- ① ②合掌ローラーを①パネル(掛)、②パネル(受)に④2M5×10トラスネジ(2本)で組付けて下さい。
- ② ③0吊元ローラーを①パネル(掛)、②パネル(受)に④2M5×10トラスネジ(2本)で組付けて下さい。

6. パネルの吊り込み

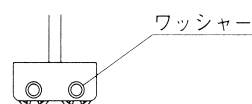


A図

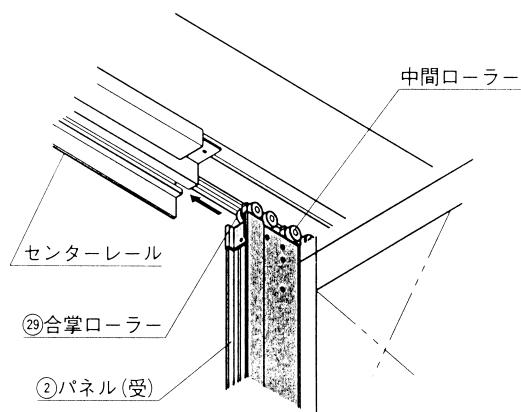
- ①パネル(掛)、②パネル(受)は左図のように折り畳んだ状態で、⑤下レールに下ローラーを静かに乗せて下さい。
(A図参照)

<注意>

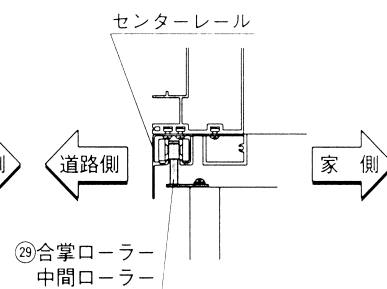
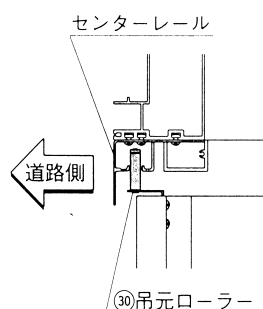
- 下ローラーは、ワッシャー側が家側となりますのでご注意ください。



- ①パネル(掛)、②パネル(受)の②⑨合掌ローラーと中間ローラーと③⑩吊元ローラーを、センターレールの溝に入れて下さい。
(B, C図参照)

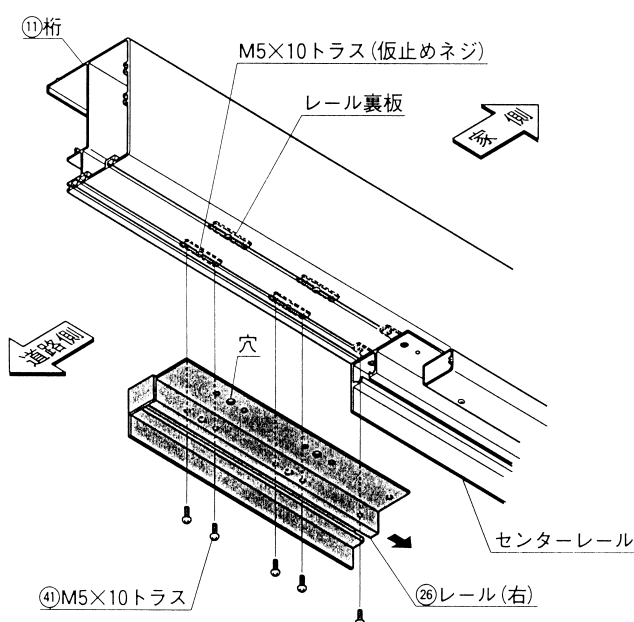


B図



C図

7. レール(右)、(左)の組付け

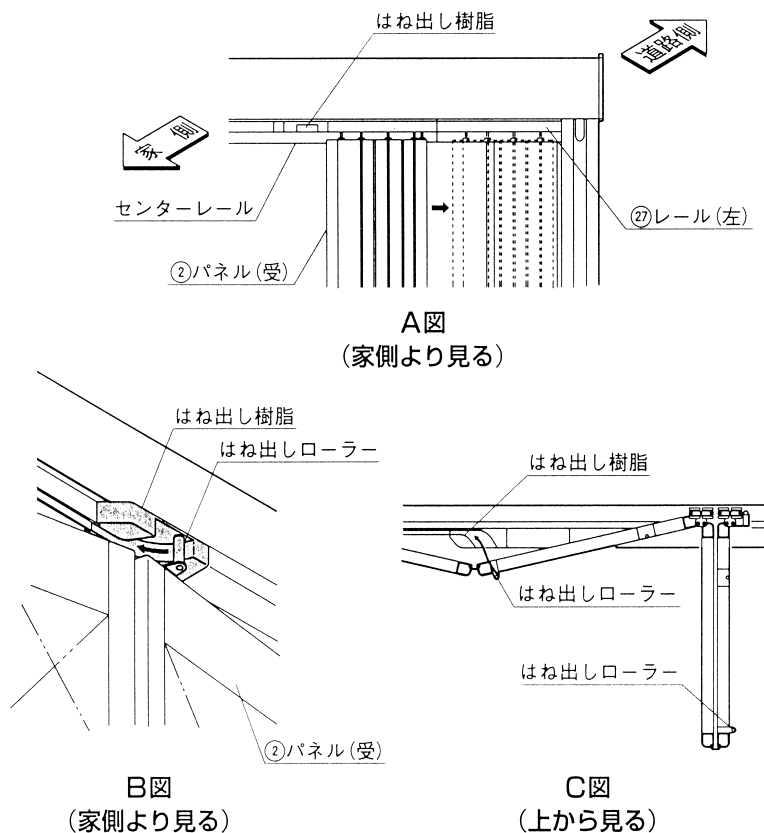


- レール裏板を仮止めしているM5×10トラスネジを緩めて④①レール組付ネジM5×10トラス5本で②⑥レール(右)を組付けて下さい。

- レールを矢印の方向へ押し当て、すきまが無いように組付けた後、レール裏板を仮止めしているM5×10トラスネジを締めして下さい。

- 反対側も同様に組付けて下さい。

8. パネルのはね出しローラーの組み込み

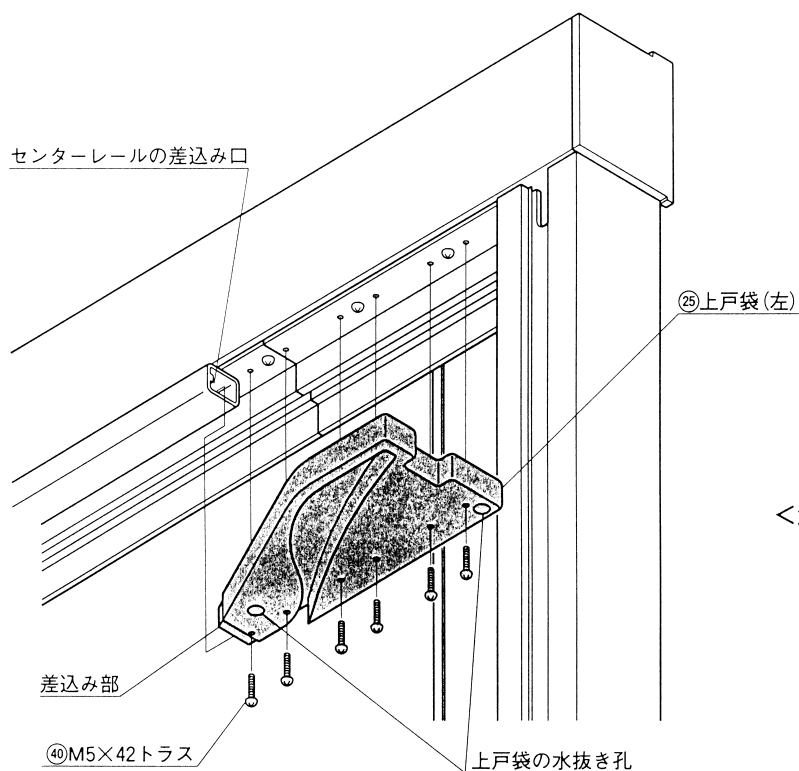


- ②パネル(受)を畳んだ状態で、センターレールから②⑦レール(左)側へ平行移動させて下さい。(A図参照)

<注意>

- 各ローラーに負荷がかからないように、ゆっくり平行移動させて下さい。
- ② パネル(受)の上部についているはね出しローラーを、はね出し樹脂に入れながらパネルを開いて下さい。(B, C図参照)
 - ③ ①パネル(掛)も②パネル(受)と同様に開いて下さい。

9. 上戸袋の組付け



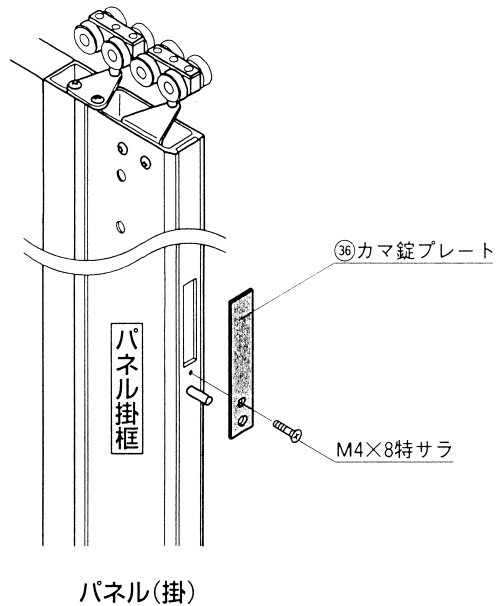
- ②⑤上戸袋(左)の差込み部を、センターレールの差込み口に入れ、④①M5×42トラスネジ(6本)で組付けて下さい。

- ② 反対側も同様に組付けて下さい。

<注意>

- ②⑤上戸袋(左)、②④上戸袋(右)には水抜き孔が開いていますので、ご注意下さい。

10. 錠の組付け



- ① ①パネル(掛)②パネル(受)に錠を組付けて下さい。

<注 意>

- 錠の詳細については、エニーハンガーゲート錠(部品セット)の中の取付説明書をご参照下さい。

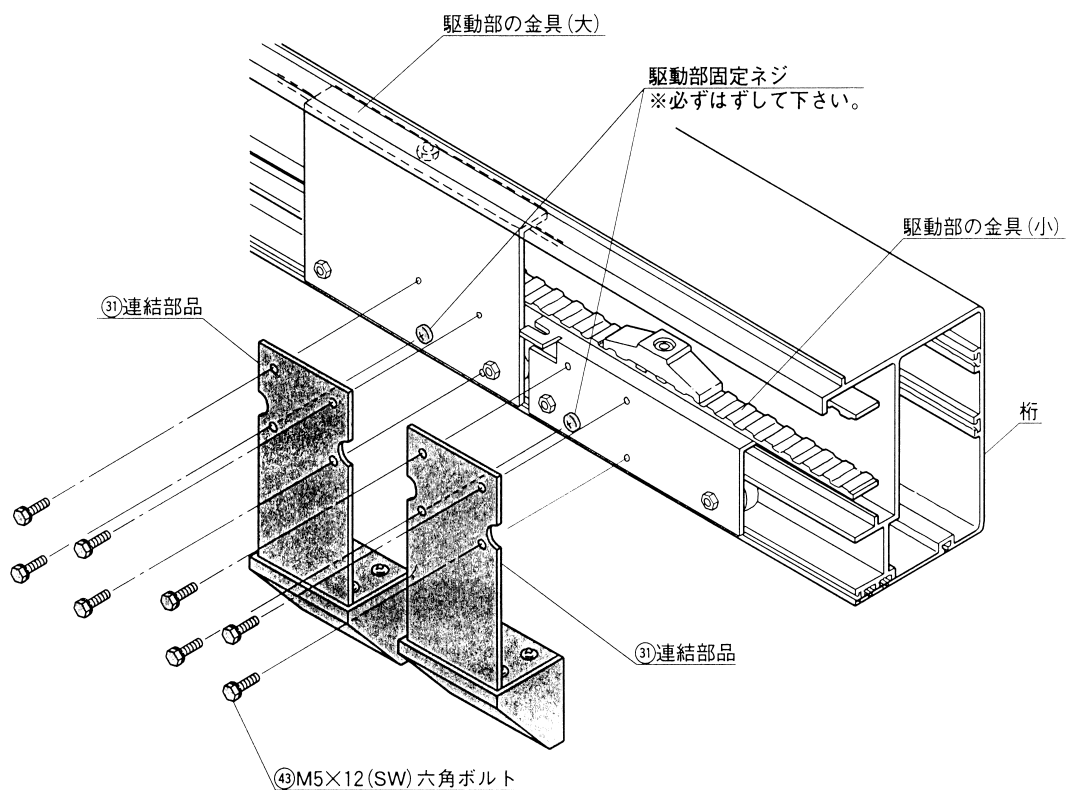
- ② ①パネル(掛)の図の位置のM4×8特サラをはずし③⑥カマ錠プレートを取付けた後、はずしたM4×8特サラで締め込んで下さい。

<注 意>

- カマ錠プレートを取付けないとカマ錠がかかってしまい、電動で開くことができなくなりますので、③⑥カマ錠プレートは必ず取付けて下さい。

11. 連結部品の組付け

11-1 桁の駆動部の金具との組付け

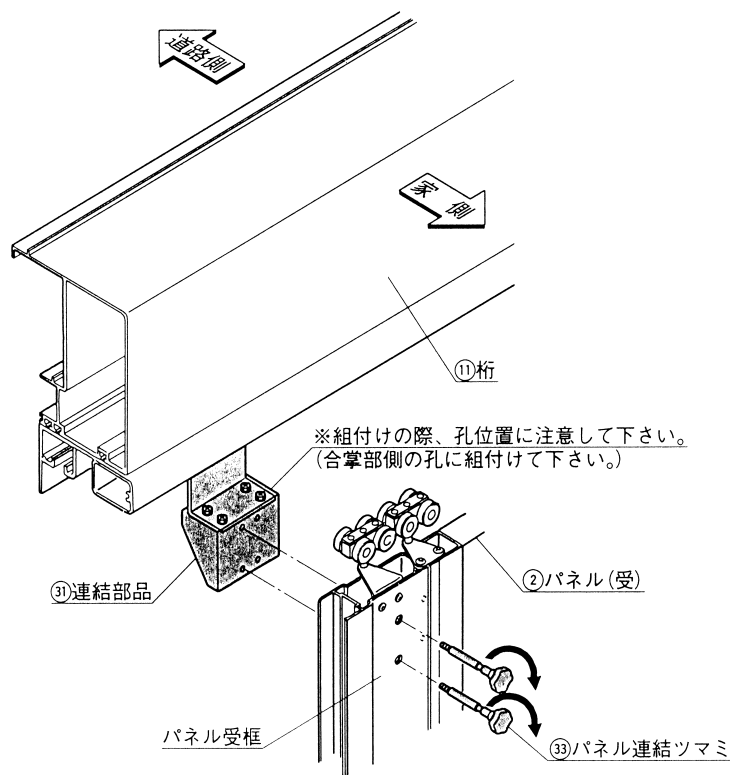


- ① 駆動部の金具(大)(小)を固定している駆動部固定ネジをはずして下さい。(※)

- ② 桁の駆動部の金具(大)(小)それぞれに、③①連結部品を④③M5×12(SW)六角ボルト(4本)で組付けて下さい。

11. つづき

11-2 パネル掛框・受框との組付け



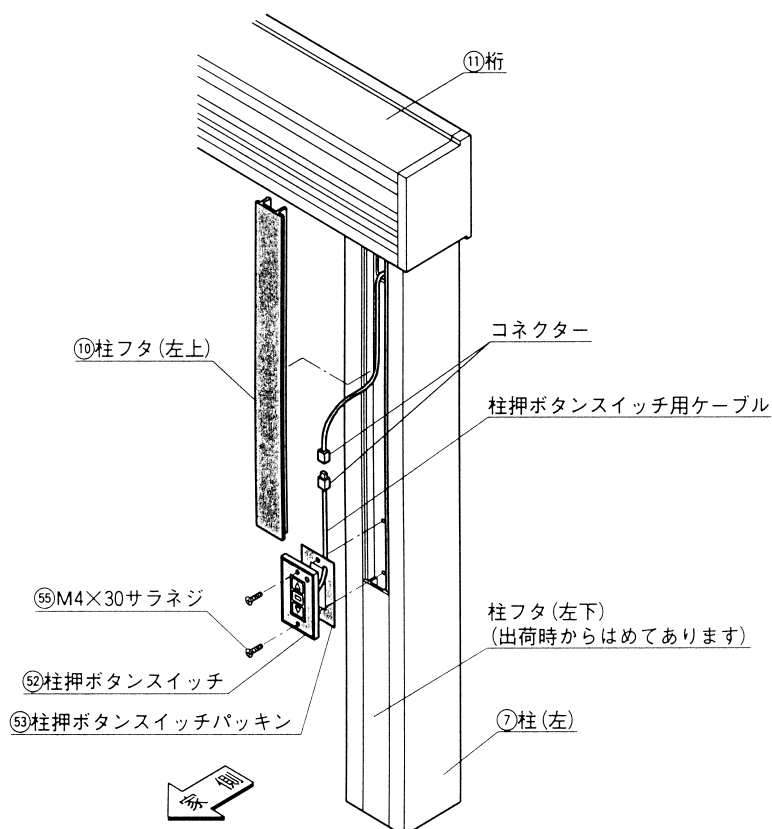
① ②パネル受框に③連結部品を④パネル連結ツマミ(2本)で組付けて下さい。

② ①パネル掛框も同様に組付けて下さい。

<注 意>

- パネル連結ツマミは、最後までしっかり締め込んで下さい。最後まで締め込みませんと、動作に支障を来します。
- 万が一、故障した場合には、パネル連結ツマミをはずすことにより手動開閉が可能となります。

12. 柱(左)側の結線



① ⑤柱押ボタンスイッチのケーブルに⑥柱押ボタンスイッチパッキンを通し、桁から出ているケーブルのコネクターと押ボタンスイッチ用ケーブルのコネクターを接続して下さい。

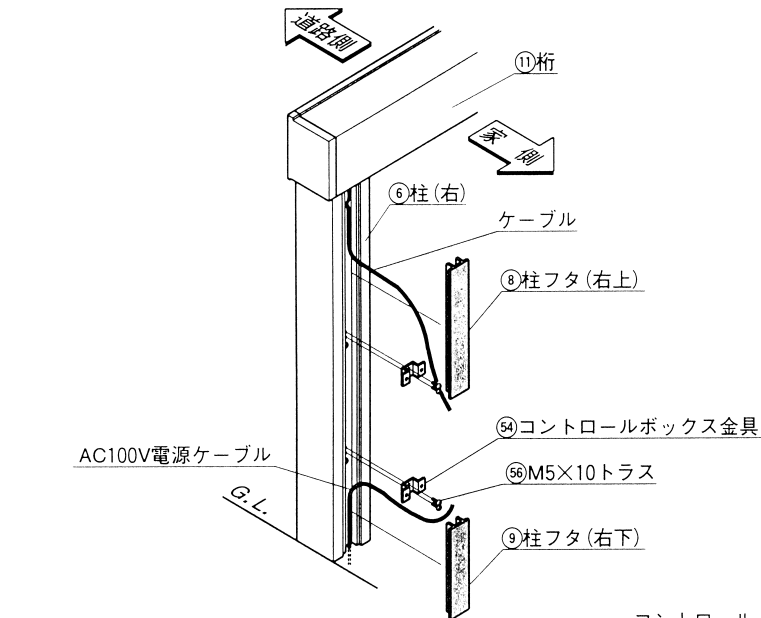
② ⑩柱フタ(左上)を⑦柱(左)に組付けて下さい。

③ ⑤柱押ボタンスイッチを⑦柱(左)に⑥M4×30サラネジ(2本)で組付けて下さい。

13. 柱(右)側の結線

13項以降の施工に関しては、電気工事の有資格者にご相談の上、作業を進めて下さい。

13-1 コントロールボックスの組付け

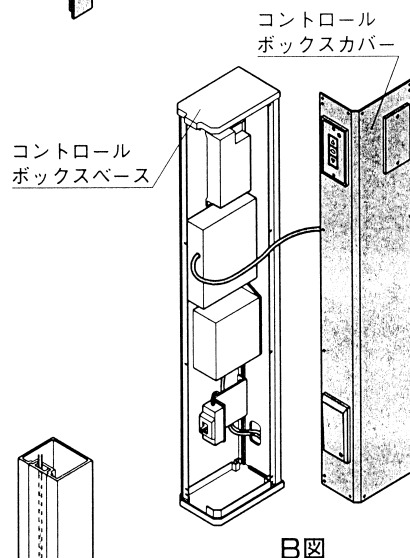
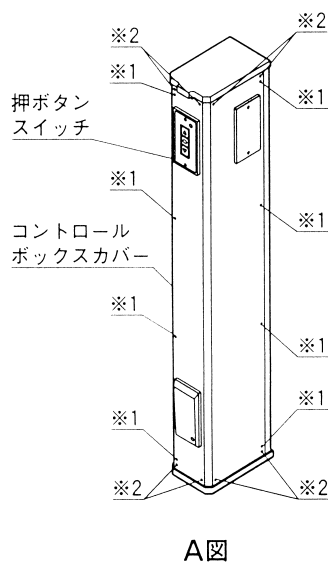


① ⑤④コントロールボックス金具を⑥柱(右)に⑤⑥M5×10トラス(2本)で組付けて下さい。(2ヶ所)

② ⑧柱フタ(右上)と⑨柱フタ(右下)を⑥柱(右)に組付けて下さい。

<注意>

- ケーブルとAC100Vの電源ケーブルは図のように柱フタから出して置いて下さい。(AC100V電源ケーブル、G.L.から400mm以上立上げ)
- コントロールボックスは、柱(左)には取付けできませんのでご注意下さい。



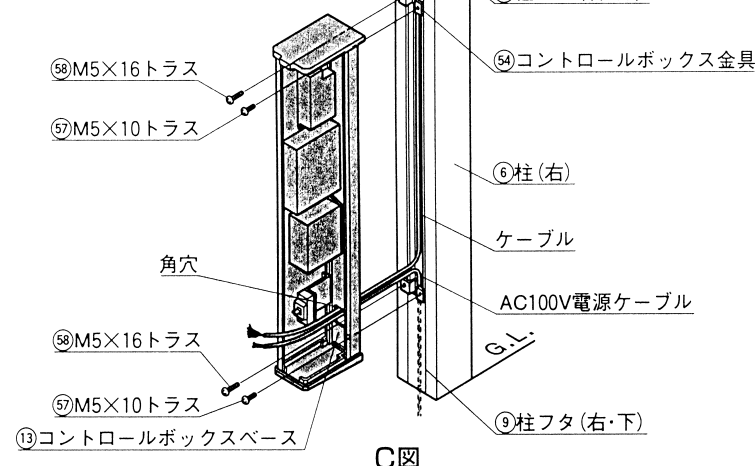
③ $\phi 4 \times 10$ トラス8本(※1)および、 $\phi 4 \times 14$ トラス8本(※2)をはずして下さい。(A図参照)

④ ⑬コントロールボックスのカバーをはずして下さい。カバーとケーブルの一部は接続されていますから充分取扱いにご注意下さい。(B図参照)

⑤ ⑥柱(右)側に出ているケーブルを⑬コントロールボックススペースの角穴に通して下さい。(C図参照)

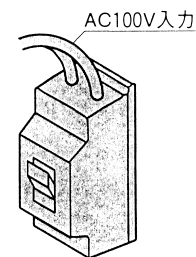
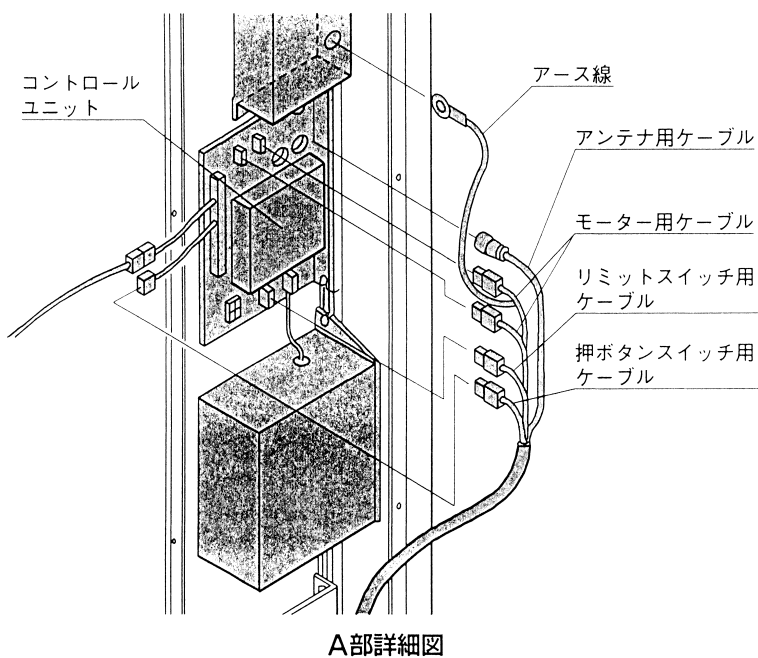
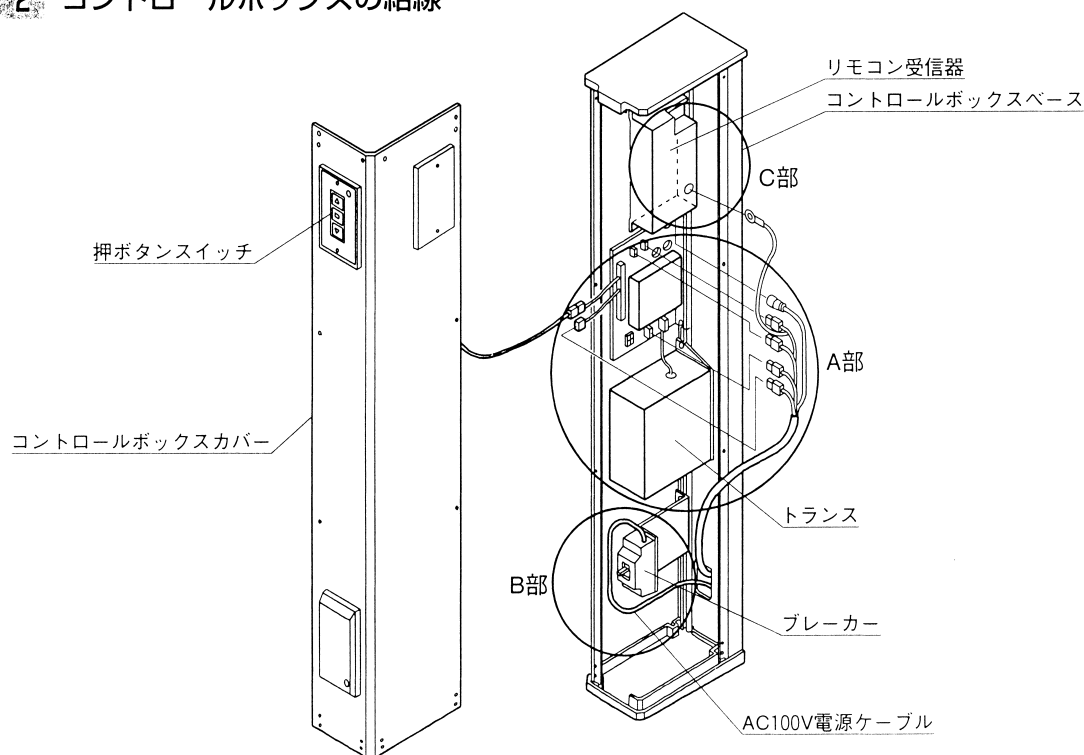
⑥ AC100Vの電源ケーブルを⑬コントロールボックススペースの角穴に通して下さい。(C図参照)

⑦ ⑬コントロールボックススペースを⑤④コントロールボックス金具に⑤⑧M5×16トラスネジ(2本)、⑤⑦M5×10トラスネジ(2本)で組付けて下さい。(C図参照)

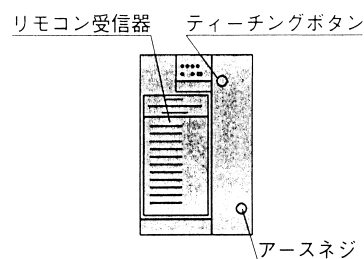


13. つづき

13-2 コントロールボックスの結線



B部詳細図



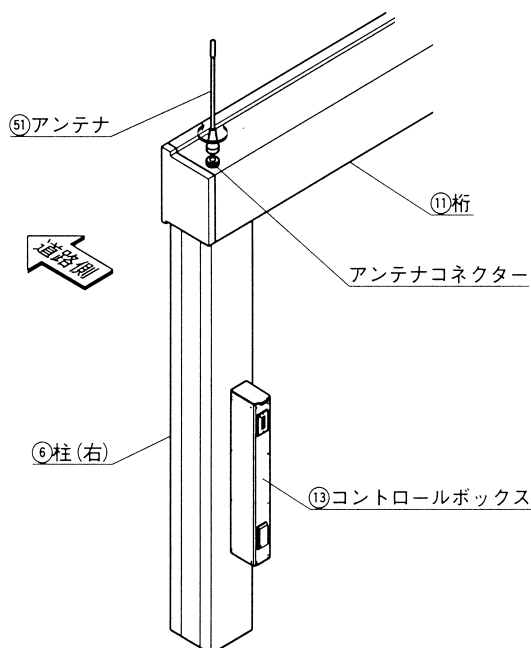
C部詳細図

- ❶ モーター(2ヶ所)、リミットスイッチ、押ボタンスイッチのコネクターをそれぞれ基盤に接続して下さい。
- ❷ アンテナのコネクターをリモコン(受信器)に接続して下さい。(A部詳細図参照)
- ❸ AC100Vの電源ケーブルをブレーカーに接続して下さい。(B部詳細図参照)
- ❹ モーターケーブルのアース線をリモコン受信器のアースネジに接続して下さい。(C部詳細図参照)
- ❺ 全てのケーブルの接続が終了しましたら11頁「13-1 コントロールボックスの組付け」❶と同様にネジでコントロールボックスカバーを固定して下さい。

<注 意>

- ブレーカースイッチは、安全のため施工が完了するまで絶対に「ON」にしないで下さい。
- コネクターは各々異なりますのでオス・メスを間違わないで下さい。

14. アンテナの組付け



- ① ⑤1 アンテナを①1 桁上部にあるコネクタに組付けて下さい。

<注意>

- 受信感度に影響が出ますのでスパナ等の工具を使用し、しっかり根元まで固定して下さい。

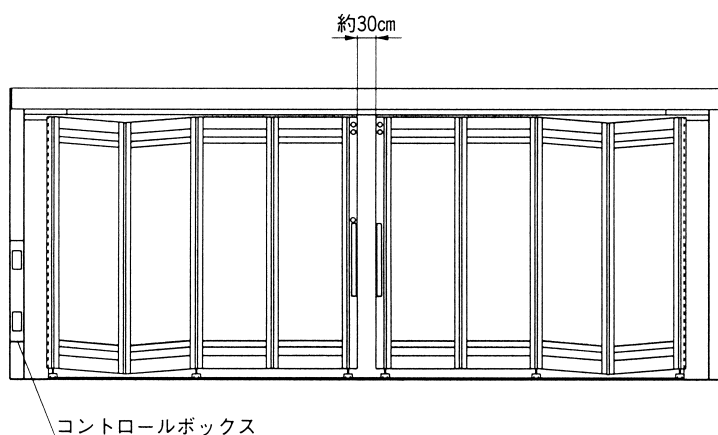
15. ティーチング作業

パネルを電動で開閉させる前に、必ずティーチング作業を行なって下さい。

ティーチングとは... 本ワイドゲートは、コントロールボックス内部に動作範囲を記憶する回路が内蔵されています。そのため、その動作範囲を記憶させる作業が必要となります。これをティーチングといいます。

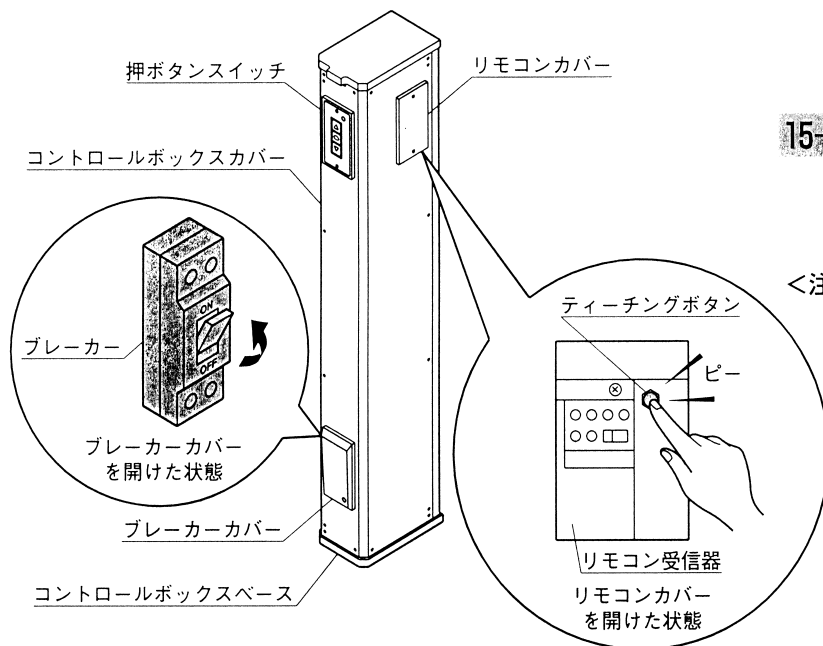
15-1 ティーチング作業に入る前の確認事項

- ① 施工寸法、水平度、直角度を確認して下さい。
- ② パネル掛側にカム錠プレートが取付いていることを確認して下さい。
(9頁「10. 錠の組付け」参照)
- ③ パネル連結ツマミが最後までしっかり締まっていることを確認して下さい。
(10頁「11.2 パネル掛框・受框との組付け」参照)
- ④ ゲート上、レール上に障害物がないか確認して下さい。
- ⑤ コントロールボックス内の結線がすべて終了しているか確認して下さい。

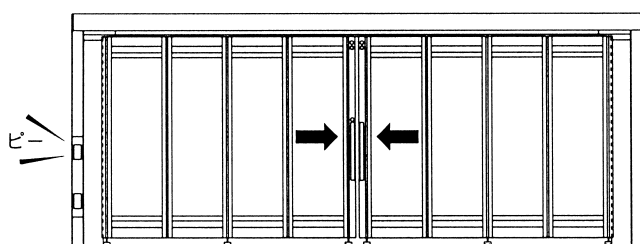


A図(家側から見た図)

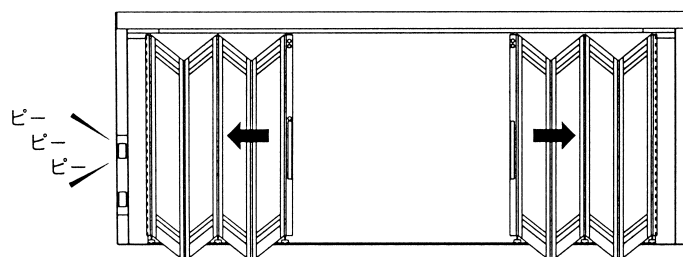
15. つづき



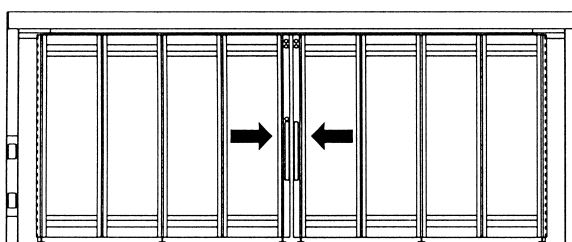
B図(コントロールボックス)



C図(全閉状態)



D図(全開状態へ)



E図(全閉状態)

15-2 ティーチング作業

- ① パネルを全閉状態から、約30cm位開いた状態にして下さい。(13頁 A図参照)

<注 意>

- パネルを開くには、モーターの負荷があるため強い力を必要とします。
- パネルを手動にて開くときは、錠の取ってを持ちゆっくりと開けて下さい。

- ② 家側のブレーカーを「ON」にした後、コントロールボックスのブレーカーカバーを開けブレーカーを「ON」にして下さい。(B図参照)

- パネルがゆっくり動き出し、全閉状態になります。(C図参照)
- 全閉となった後、「ピー」という音が1回鳴ります。(C図参照)

- ③ コントロールボックスのリモコンカバーをはずし、リモコン受信器の横にあるティーチングボタンを「ピー」という音が1回鳴るまで押して下さい。(B図参照)

- 「ピーピー」という断続音が鳴りながら、パネルは自動的に開き全開状態になります。(D図参照)
- その後、「ピー」音が消えパネルは自動的に閉まり、全閉状態になります。(E図参照)

<注 意>

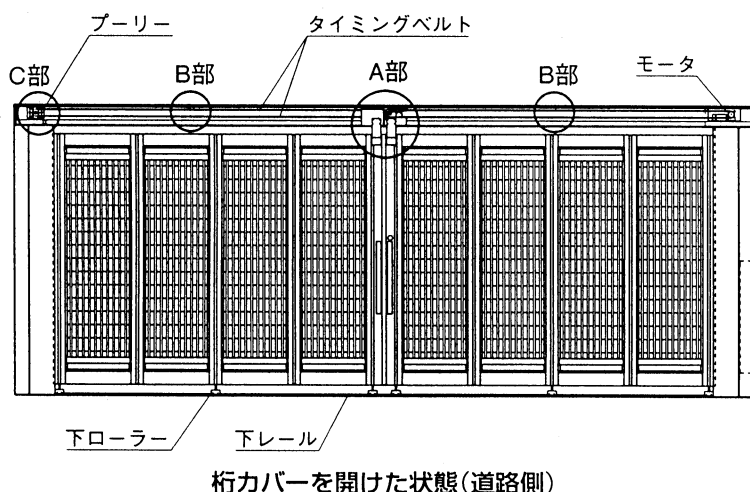
- ティーチングボタンを「ピー」音が2回以上鳴るまで押し続けたときは、コントロールボックス内のブレーカーを「OFF」にし、最初からティーチングをやり直して下さい。
- ティーチング作業中に外部から負荷がかかり、途中でパネルがとまった場合は、ブレーカーを「OFF」にし、最初からティーチングをやり直して下さい

- ④ 以上でティーチング作業は終了です。

16.動作確認と各部の調整方法

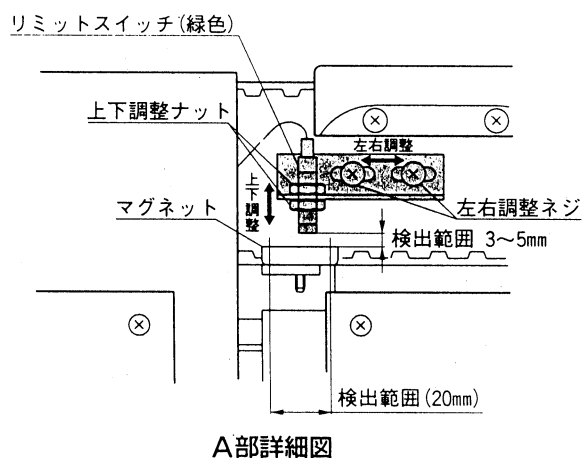
ティーチング作業が終了しましたら、コントロールボックスの押ボタンスイッチで動作確認を行なって下さい。

16-1 全開位置の確認



- ① ⑬コントロールボックスの押ボタンスイッチの「OPEN」を押して、全開することを確認して下さい。
 - 全開しない場合、再度ティーチング作業を行なって下さい。

16-2 全閉位置の確認とリミットスイッチ位置の確認



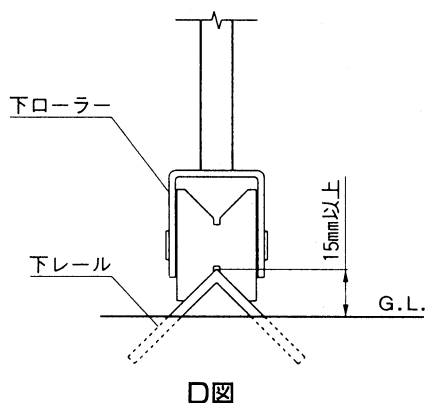
- ① ⑬コントロールボックスの押ボタンスイッチの「CLOSE」を押して、全閉することを確認して下さい。
- ② 全閉時のリミットスイッチの位置を確認して下さい。(A部詳細図参照)
 - 検出範囲から外れている場合は、調整して下さい。(A部詳細図参照)

<注 意>

- リミットスイッチが検出範囲外にあるとエラーを起こし、コントロールユニットから断続音(ピーピー)が鳴ります。エラーが起きた場合は、ブレーカーを「OFF」にし、リミットスイッチの位置を確認した後ブレーカーを「ON」にして下さい。

16. つづき

16-3 下ローラーと下レールの確認



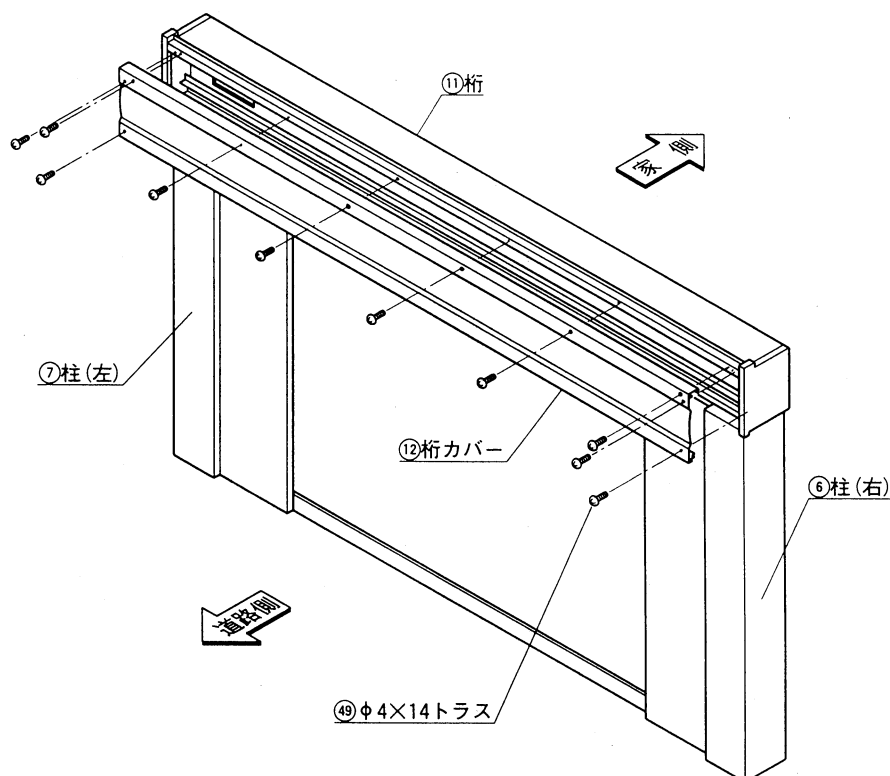
- ① ①②パネル(掛)(受)の下ローラーが、きちんと下レールの上を走っているか確認して下さい。
- 下レールがG.L.から15mm以上出るようにして下さい。(D図参照)
 - 下レールにモルタル・土が付いていたら取除いて下さい。

<注意>

- 下ローラーがモルタルの上を走っていると脱輪する恐れがありますのでご注意ください。

17. 桁カバーの組付け

すべての施工が終了しましたら、桁カバーを組付けて下さい。

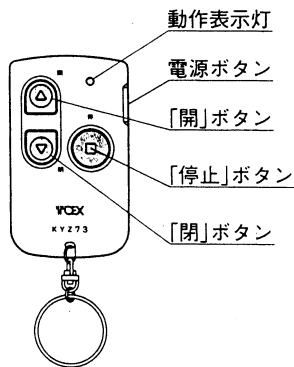


- ① ⑫桁カバーを⑪桁に④⑨φ4×14トラス(10本)で組付けて下さい。

18. 開閉操作方法

18-1 リモコン送信器での操作方法

リモコン送信器の押ボタンを押してパネルを開閉して下さい。

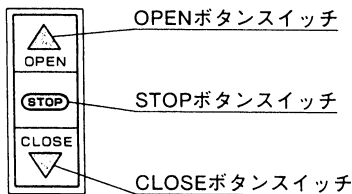


MD-3リモコン送信器

- <注 意>**
- ① 電源ボタンを押して下さい。動作表示灯が点滅します。
 - 動作表示灯の点滅時間は約15秒間です。15秒を経過すると点滅は自動的に消え②の操作をしても送信が行なわれなくなります。
 - ② 動作表示灯点滅中に「開」ボタンを押すと、動作表示灯が点灯しパネルが開きます。
 - 途中で停止させるときは、「停止」ボタンを押します。
 - ③ 動作表示灯点滅中に「閉」ボタンを押すと、動作表示灯が点灯しパネルが閉じます。
 - 途中で停止させるときは、「停止」ボタンを押します。
- <注 意>**
- リモコン送信器の実用到達距離約10m以内で操作して下さい。開／閉動作中に、逆方向の開または開動作をさせるときは、必ず一度「停止」ボタンを押してから、次の押ボタンを押して下さい。「停止」ボタンだけは、電源ボタンを押さなくても送信が可能となっています。

18-2 押ボタンスイッチでの操作方法

コントロールボックスおよび柱に付いている押ボタンスイッチを押してパネルを開閉して下さい。



押ボタンスイッチ

- ① OPENボタンスイッチを押すとパネルが開きます。
- ② STOPボタンスイッチを押すとパネルが停止します。
- ③ CLOSEボタンスイッチを押すとパネルが閉じます。

18-3 電動と手動の切替え

この電動装置は、通電時(AC100V)にパネルが全閉状態の位置でモーターによる全閉状態を保持しようとする力が働く構造になっています。

施工調整時、故障時に手動開閉する場合

③パネル連結ツマミ(4本)をはずし、手動開閉して下さい。(10頁「11-2 パネル掛框・受框との組付け」参照)

非常時に手動開閉する場合

家側のブレーカーまたは、コントロールボックス内のブレーカーを「OFF」にしますと、モーターのロックが解除され手動で開閉可能となります。

<注 意>

- 非常時に手動開閉する場合、ブレーカーを「OFF」にするとロックは解除されますが、モーターの負荷があるため開閉に大きな力が必要となりますので、ゆっくりと開閉して下さい。駆動部の破損の原因となります。
- 通常はパネル連結ツマミをはずして、手動開閉して下さい。
- 長期間電源供給をストップした状態でパネルに施錠する場合は、パネル(掛)のカマ錠プレートははずし、通常の錠として使用して下さい。

18-4 過負荷検出機能について

パネルが動作中に人や車、障害物等に衝突した時に、大事故を防ぐために設定されている安全装置です。

開動作時……障害物に当たった後約1秒で停止、次に閉ボタンを押すまでその場所で待機します。障害物を取り除いた後は必ず閉ボタンを押してパネルを完全に閉めて下さい。完全に閉まった時にリセットされます。

閉動作時……障害物に当たった後約1秒で反転し全開状態で停止します。次に閉ボタンを押すまでその状態で待機するので、障害物を取り除いた後は必ず閉ボタンを押してパネルを完全に閉めて下さい。完全に閉まった時にリセットされます。

19. リモコンについて

■リモコン送信器の実用到達距離は約10mなのでその範囲内で操作をして下さい。

19-1 電池の入れ方

送信器はコイン型リチウム電池(CR2032)を1個使用します。出荷時、電池は部品として本体と同梱されています。

リモコン送信器裏面

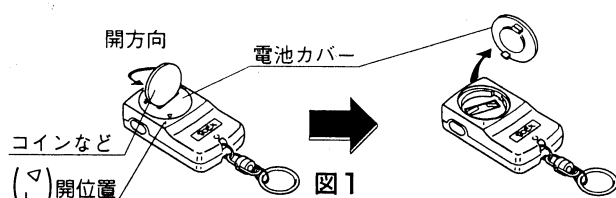


図1

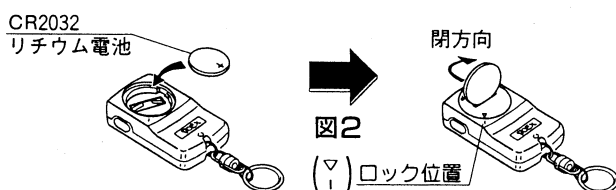


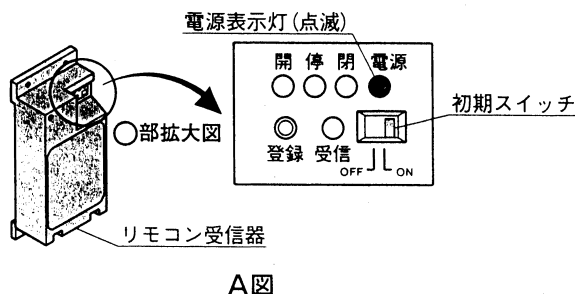
図2

- ① 送信器裏側、カバーの溝にコイン等を差し込み、矢印方向に回して電池カバーをはずします。(図1参照)
- ② 電池は「十マーク」が見える向き(上側)ではめ込みます。(図2参照)
- ③ 電池カバーを、はずした位置で差し込み、コイン等で矢印方向(時計方向)に回して閉めます。(図2参照)

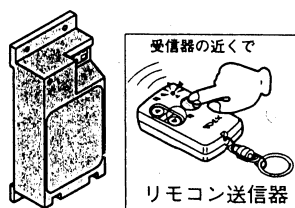
<注意>

- 「マーク」を合わせます。「締め忘れ」に注意してください。(図2「ロック位置マーク」参照)

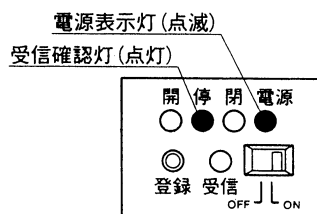
19-2 登録方法



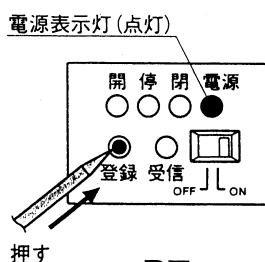
A図



B図



C図



D図

- ① コントロールボックス側面にあるリモコンカバーをはずします。
- ② リモコン受信器の初期スイッチを「ON」側にして、電源表示灯(緑色)を点滅させます。点滅しない場合は、初期スイッチを一度「OFF」にして、もう一度「ON」側にします。(A図参照)
- ③ リモコン送信器の「停止」ボタンを、受信器近くで押して登録します。受信確認灯「停」が赤色点灯し送信器登録が完了します。(B, C図参照)
- ④ リモコン送信器の登録操作後、受信器の「登録スイッチ」をボールペンの先などで押して登録、または電源表示灯の点滅が「点灯」に変わるまで待ちます。「点灯」表示で受信器登録が完了します。(D図参照)
- ⑤ はずしたリモコンカバーを取付けます。

<注意>

- 受信器への登録は、必ず電源表示が「点滅している1分間」に操作して下さい。
- 登録スイッチを強く押しすぎないで下さい。スイッチの故障の原因となります。

19-3 追加登録方法

- ① リモコン受信器の登録スイッチをボールペンの先端などで押して電源表示灯を点滅させます。(18頁 D図参照)
- ② 18頁「19-2 登録方法」の③、④の操作をして下さい。
 - ・リモコン受信器1台でリモコン送信器16台まで登録できます。
 - ・複数のリモコン送信器をご使用になる場合は、別売り品のリモコン送信器セット(KYZ73)をお求め頂き上記手順でセットして下さい。

<注 意>

- ・「リモコン登録抹消」以外の目的で、初期スイッチを「OFF」にした場合、登録している送信器はすべて操作できなくなります。

19-4 登録取り消し方法

- ① すべての登録を取り消す場合は、リモコン受信器の初期スイッチを「OFF」側にします。

20. 動作不良時の点検と処置

症 状	点 検	処 置
押ボタン・リモコンで全く動作しない	供給電源はきていますか	家側のブレーカー・コントロールボックス内のブレーカーを「ON」にする
	桁内部駆動部の金具の固定ネジが取付けたままになっていませんか	駆動部固定ネジは必ず(9頁「11-1」参照)
	カム錠がかかった状態になっていませんか	カム錠プレートを取付ける(9頁「10」参照)
	コントロールボックス内の結線が確実に行われていますか	コントロールユニットに差込んだコネクタを再度確認する(12頁「13-2」参照)
押ボタンで動作するが、リモコンで動作しない	リモコンアンテナがゆるんでいませんか	アンテナをしっかり根元まで締め込む(13頁「14」参照)
	コントロールボックス内、アンテナ用ケーブルの結線が確実に行われていますか	ケーブルのコネクタを受信器のコネクター部にしっかり締め込む(12頁「13-2」参照)
	リモコンの登録を行ないましたか リモコン受信器の初期スイッチを「OFF」にしていませんか	リモコンを再登録する(18頁「19」参照)
全開・全閉しない 途中で止まってしまう	ティーチング作業は行ないましたか	ティーチング作業を再度行なう(13頁, 14頁「15」参照)
	手動での開閉に問題はないですか	パネル連結ツマミをはずし、手動開閉して上レール・上ローラーなどが変形して引っ掛かっていないか確認する(10頁「11-2」参照)
	パネル連結部品・ツマミがしっかりと固定されていますか	パネル連結部品の取付ネジ・パネル連結ツマミをしっかりと締め込む(10頁「11-2」参照)
動作中、下ローラーが下レールから脱輪する	下レールがG.L.から15mm以上出ていますか	レールがG.L.から15mm以上出るようにする(16頁「16-3」参照)
動作中、異音がする	下レールにモルタルや土が付着していませんか	モルタルや土を取り除く
コントロールボックスから「ピーピー」という断続音が鳴る	*エラーが発生しています 全閉時のリミットスイッチの位置が検出内にありますか	コントロールユニット内のブレーカーを「OFF」にし、桁内部のリミットスイッチの位置を調整する(15頁「16-2」参照)

*エラーが発生したとき(「ピーピー」という断続音がコントロールボックスから鳴っているとき)は、必ずブレーカーを一度「OFF」にし、しばらくしてからブレーカーを「ON」にして下さい。
ブレーカーを「ON」にした後、パネルは自動的に全閉状態になり「ピー」という音が1回鳴ります。その後、押ボタンおよびリモコンで動作可能となります。

21.仕様

電 源	AC100V 50/60Hz
消 費 電 力	動作時 max 200W 動作時 通 常 130W
モ ー タ ー	回転センサ付直流モーター
リモコン到達距離	見通し距離 約10m (使用環境で短くなることがあります。)
周 囲 温 度	-10℃～60℃
開 閉 時 間	標準 約10秒
操 作 方 法	押しボタンスイッチ、リモコン

取説コード

D202IE-B①
200004D